2018年度版

■ 物損事故報告 (第一報)

□ クレーム報告

□ ヒヤリ事故報告

発信日:2018年7月18日

発信事業所:コマツ物流(株) 東日本物流部

発信部門:郡山物流課

フォークリフトがクレーン支柱に接触、損傷

1. 発生日時 2018年 7月 13日(金) 16時 45分頃 天候: 晴れ

2. 発生場所 コマツ郡山工場内 コマツ物流エリア 梱包棟内クレーン作業場

3. 事故当事者 所属:コマツ物流(株)東日本物流部郡山物流課 職種:倉庫工 年齡:52歳 勤続年数:6年4ヶ月 経験年数: 6年

免許取得·技能講習受講後: __30年経過

社員区分:■正規社員 口期間社員 口派遣社員 口その他 ()

4. 事故概要 作業名: 出荷梱包作業前の製品運搬作業

作 業・安全標準書の有無: 口 有 (5W1Hで記入) 無無

7月13日 16:45 当日出荷予定のシリンダー707-01-00930(6本)に対し1本生産待ち状態だったが

路線便出荷時間に間に合わす翌14日(土)に出荷する事に変更。そこで定時頃に出てくる 製品1本を、コマツ物流エリア梱包棟内のクレーン作業場奥にあった5本とあわせて梱包 する為、その5本をクレーンの下に引き出そうと3tフォークリフトでクレーン作業場に

進入した。

16:48 クレーン作業場内に進入しようとして通路から右折した際、天井クレーン (1t)の支柱とフォークリフトのマストガード右側が接触し、クレーン支柱を

押し込ませた。

16:50 当事者→班長→出荷T主任へ事故報告。

同時に、当該クレーンを使用禁止とし、全員に注意喚起及び看板表示実施。

16:55 郡山物流課長→出荷チーム長、郡山物流課安全担当(共に出張中) に事故報告。

17:00 郡山物流課長→東日本物流部長に事故報告。

18:10 郡山物流課長→本社安全物流部長へ事故報告(メール)。

5. 状況写真 (写真がない場合ポンチ絵でも可)

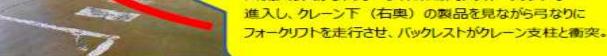


この場所に あった製品を 運搬しよう

とした。



西側入り口から、クレーン作業場内にフォークリフトで 進入し、クレーン下(右奥)の製品を見ながら弓なりに



- 6. 事故の原因
 - クレーン下に作業物が無かった為、対象製品へ作業場をショートカットしようとしてしまった。
 - ・柱の存在認識は有ったが、対象製品を見ながら走行し、マストに柱が隠れ死角となり柱を失念してしまった。
 - 作業者1名の年休があり、出荷製品の遅れ、定時までに終わらせたいとの原因もあり焦りが生じた。
 - 建屋内の倉庫速度「5km」は認識していたが、焦りも有り速い速度で衝突してしまった。
- 7. 暫定対策

7/18 朝礼で報告し、課員全員に建屋内の速度遵守を注意喚起。

10:30 フォークリフト作業者全員を招集し暫定対策を協議

- ・当該作業者においては、当面の間、フォークリフト運転を禁止とする。※今後については別途協議
- 柱にトラテープを貼り、注意喚起を行う。
- 柱のフォークリフト目線位置にA3横で注意喚起看板を設置
- ・柱前に注意喚起表示を付けたコーン(邪魔棒)を設置 上記を7/18中に実施完了予定

暫定対策協議時に、再度建屋内外のフォークリフト速度厳守をあらためて注意喚起した。

8. 事故への対応

